

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤 正義



新年あけまして、おめでとうございます。平成27年の年頭にあたり、会員組合及び組合員企業の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から、本会の事業運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の我が国経済は、国の積極的な財政出動により公共投資が増加し、国土強靱化や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うインフラ整備等が本格化し、また、過度の円高が是正されたことにより、大企業や輸出関連企業を中心に明るさを取り戻した一年となりました。

しかし、本会の情報連絡員による景況調査では、本県の中小企業は景気回復が遅れ、特に、昨年4月に行われた消費増税の影響が尾を引き、急激な円安によるコストアップも価格転嫁できない等、大変厳しい状況が続いております。

こうした中、昨年末に実施された衆議院総選挙では、自民党・公明党による連立与党の勝利となり、安倍内閣によるアベノミクスが信任された形となりましたが、地方創生の高まりと同時にローカルアベノミクスによる息の長い、本格的な地方の活性化を念願しています。

さて、私が秋田県中小企業団体中央会の会長職を、今は亡き塩田前会長から引き継いで半年が経ちました。この間、地区別組合代表者懇談会等においては会員組合の皆様の声の生に接し、理事会においては理事の方々との真摯な意見交換を行い、秋田県知事との懇談会では会員組合の皆様から出された要望を率直に佐竹知事にお伝えしております。こうした活動を通じて、今年は、本会の活動指針である「強い組合・強い企業づくり」に向けて邁進すべく、気持ちを新たにしているところであります。

具体的には、昨年4月に施行されました「中小企業振興条例」の理念であります「自立型」「創造型」の中小企業への変革を後押しするため、県内中小企業の皆様が経営課題を解決するための専門家派遣や、企業のブランド確立・販路開拓等の支援メニューを充実させるとともに、本会職員が積極的に皆様のところへ出向き、ご相談に応じることとしております。

また、「ものづくり補助金」の秋田県地域事務局としての役割を十分に果たすべく、単なる事務処理支援ではなく、事業に取り組んでいる企業の皆様に対する相談活動の強化を図ってまいります。

平成27年は干支で申しますと「羊(ひつじ)」になります。過去、「ひつじ年」の話題として、1991年の東北新幹線上野ー東京駅間開業、2003年の新県立野球場「こまちスタジアム」の完成などが思い出されますが、今年は更に明るい話題がたくさん聞かれる年になることを願ってやみません。

今後も皆様から信頼され、お役に立てる中央会として質の高い支援やサービスを提供し、皆様のニーズに対応してまいります。

皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、「第29回国民文化祭・あきた2014」の開催により、県内外の皆様には秋田の文化の魅力に触れていただくなど、全国的に注目を集めた行事が続いた年でありました。皆様には、協賛事業等を通じて、県内各地の魅力を積極的に発信していただき、厚くお礼申し上げます。

さて、人口減少、地方創生が国家的な課題となる中、少子高齢化と人口減少の進行が著しい本県にあっては、県経済の規模縮小や労働力人口の減少、担い手不足による地域活力の低下など、自らの地域の将来を見据え、知恵を出し、努力していく必要があります。

今後、県内経済が力強い成長軌道に乗るためには、新エネルギーや自動車等の成長分野を育成するとともに、伝統工芸、農業、観光、歴史文化など、多様な地域資源を現代に合った形で活用しながら、生産性と付加価値を高め、海外も含めて販路拡大を図っていくことが重要であります。

このため、県では、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」や「中小企業振興条例」に基づき、きめ細かに施策を展開するとともに、秋田港と能代港における洋上風力発電の導入や、最先端の水素利用技術を有する企業との協定の締結、秋田大学医学部との医工連携に関する覚書の締結、さらには成長著しい東アジアへの経済交流ミッション団の派遣など、中小企業がチャレンジしやすい環境づくりも果敢に進めているところであります。

加えて、総合戦略産業としての観光の推進や高速交通網の整備促進、本県の将来を支える人材の育成などについて着実に取り組み、本県の持つ様々な資源を未来への発展につなげ、県民が生き生きと暮らす「日本に貢献する秋田、自立する秋田」の実現を目指してまいります。

中小企業団体中央会におかれましては、会員組合並びに組合員企業の優れた技術やノウハウに光を当て、しっかりと次代へ継承するとともに、営業力、販売力の強化を積極的に支援し、全国はもとより、海外を舞台にビジネスを展開する、若者にとっても魅力ある企業の育成に、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、新しい年が皆様にとって希望に満ちあふれた飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 鶴田欣也



明けましておめでとうございます。平成27年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年当初は、輸出の持ち直しや消費税引上げ前の駆け込み需要が強まり、大手を中心に企業業績は堅調に推移するなど景気回復が続いたものの、4月の消費増税後は、GDPが2四半期連続してマイナスとなるなど景気低迷が鮮明となりました。加えて、10円近く円安が進み、原材料や燃料の高騰、人手不足による人件費の値上がり等によるコストの増加によって、中小企業にとって企業収益の改善が進まず、景気回復の実感が得られない厳しい年となりました。

こうした中、昨年10月に東京・日比谷公会堂で開催されました第66回中小企業団体全国大会と代表者の集いには、安倍晋三内閣総理大臣ほか多数の閣僚にご出席頂き、地域や中小企業に景気回復の実感が届くための大会決議を要望することができました。

また、経済の好循環実現に向けた政労使会議では、安倍総理に対して、生産性向上を図る省力化投資の増進や下請代金の引上げ等取引環境を整備して頂くよう要望して参りました。

明けて平成27年は、全国津々浦々の中小企業が景気回復を実感できる経済の好循環を確実に実現していくことを強く期待しています。中小企業自らが持ち前の機動力を発揮して地域の特徴を生かした経営力強化を図るとともに連携・共同化による生産性向上や製品・サービスの高付加価値化、組合機能を活かした職業訓練の実施による地域への人材供給などを更に活発化していくことを強く期待しているところです。

また、昨年成立した小規模企業振興基本法に基づく「小規模企業振興基本計画」に定められた組合等の役割(地域ぐるみで総力を挙げた支援体制を整備するため、「地域の小規模企業が他の事業者との連携・組織化を進める上で、組合が果たす役割は大きく、中小企業団体中央会・商店街振興組合連合会は、小規模企業の課題に応じた多様な組合活動を支援していくことが求められる。」)の具体化を図り、実行していかなければなりません。組合と組合員企業の皆様が、地域経済の活性化に資する事業活動は自分自身の問題であるとの共通の認識を持ち、能動的に行動していく必要があります。

今年は、大部分の中小企業団体中央会が創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた中央会という知的財産に、女性と若者等の創意工夫による新たな成果を着実に積み上げていきたいと考えています。組合等連携組織が主体となって地域内再投資が繰り返され、組合関係者の手で地域活性化が実現できるよう団体のトップの方々に更なるリーダーシップの発揮をお願いいたします。

本年が皆様にとって、明るく、ワクワクするほど楽しい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成27年元旦

年頭所感

株式会社 商工組合中央金庫

秋田支店長 片山 雅史



新年明けましておめでとうございます。

平成27年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済を振り返りますと、消費税率の引き上げを挟んで、駆け込み需要とその反動減が発生し、景気の振幅が大きくなりました。具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、政府の経済対策としての公共投資が成長を支えましたが、輸出の伸び悩みや個人消費の持ち直しに遅れが生じ、また一部の業種における消費税率引き上げの反動減の長期化、円安・原材料高に伴う仕入価格の上昇、人手不足による供給制約などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

当金庫の「中小企業月次景況観測」による中小企業の景況も、駆け込み需要のあった3月には景況判断指数がバブル崩壊後の最高値を更新しましたが、4月以降はその反動減により大きく低下した後、持ち直しに転じましたが、好転・悪化の境目となる50手前で足踏みが生じました。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、環境・エネルギー等の分野を中心に成長マネーを供給してまいりました。

本年も引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆様の成長、再生支援等に全力で取り組んでまいります。さらにこうした取り組みを、地域の各機関と連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済活性化に貢献してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。